

くすりのしおり

622000601

2011年2月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：グリメピリド錠 1mg「アメル」

主成分：グリメピリド（Glimepiride）

剤形：淡紅色の素錠 直径約 6.0mm、厚さ約 2.2mm

シート記載：表 グリメピリド 1mg「アメル」、糖尿病用薬

裏 Glimepiride 1mg《AMEL》、Kw GL1、

グリメピリド「アメル」、1、リサイクルマーク



この薬の作用と効果について

主に膵臓に作用しインスリン分泌を促進します。

通常、2型糖尿病の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。ケトosis、糖尿病性昏睡、インスリン依存型糖尿病、肝・腎機能障害、感染症、手術前後、下痢や嘔吐などの胃腸障害がある、風邪などで食事が十分摂れていない。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量は** << : 医療担当者記入 >>
- ・ 通常、主成分として1日 0.5～1mg より開始し、1日 1～2回朝または朝夕、食前または食後に服用します。維持量は通常1日 1～4mg で、必要に応じて適宜増減されますが、1日最高投与量は6mg までです。本剤は、1錠中に3mg を含有します。必ず指示された服用方法を守ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は、1回とばして次の指示された時刻から飲んでください。絶対に2回分を一度に飲むではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ 高所作業や自動車の運転など危険を伴う作業に従事している時に低血糖症を起こすと事故につながる可能性がありますので、特に注意してください。
- ・ 糖尿病患者であることを記したカードを身につけておいてください。
- ・ 低血糖にそなえて砂糖やブドウ糖を携帯してください。α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボースやボグリボースなど）と同時に服用中に低血糖症状が起こった時には、ブドウ糖をとるようにしてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、低血糖または低血糖症状、嘔気、下痢、胃不快感、めまいなどが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 強い異常な空腹感、冷汗、脱力感、意識障害 [低血糖]
- ・ 貧血症状（疲れやすい、全身倦怠感、動悸など）、発熱、赤褐色尿 [溶血性貧血]
- ・ のどの痛み、頭痛、寒気や震えを伴って高熱が出る [無顆粒球症]
- ・ 貧血症状（全身倦怠感、動悸など）、出血傾向（鼻血など）、発熱 [汎血球減少症、再生不良性貧血]
- ・ 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局に相談してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。